



平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越

コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 本間 博夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 薄田 賢二

TEL 03-5568-5210

四半期報告書提出予定日 平成22年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	97,170	23.7	5,592	—	4,284	—	3,825	—
21年11月期第3四半期	78,576	—	△3,974	—	△5,284	—	△7,254	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	15.39	—
21年11月期第3四半期	△29.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第3四半期	175,843	52,381	28.4	200.89
21年11月期	176,248	49,527	26.8	189.79

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 49,950百万円 21年11月期 47,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	0.00	—	1.50	1.50
22年11月期	—	0.00	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,500	24.1	7,800	—	6,000	—	4,700	—	18.90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年11月期3Q	249,193,436株	21年11月期	249,193,436株
② 期末自己株式数	22年11月期3Q	548,694株	21年11月期	526,932株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年11月期3Q	248,651,621株	21年11月期3Q	248,694,130株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報」の「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
2. 今期の期末配当金(予想)につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、今期の業績見通しを更に見極めた上で改めて公表させていただきたいと存じます。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年12月1日～平成22年8月31日)の当社グループをとり巻く環境は、好調な新興国経済を背景とした自動車生産の回復に加え、市販や産業機械分野が持ち直しの動きを見せるなど、緩やかながらも景気回復の足取りをつよめてまいりました。

このような状況の中、当社グループは、独自のエンジニアリングビジネスを切り口に新市場の開拓や既存市場の活性化をすすめてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は971億70百万円と前年同期に比べ23.7%の増収となりました。このうち、国内向けの売上高は597億34百万円(前年同期比17.0%増)、海外売上高は374億36百万円(同36.1%増)であります。

利益面につきましては、円高による輸出採算の悪化や販売価格の低下などの影響がありましたが、売上・生産の回復による操業度の向上に加え、コスト構造の抜本的見直しなど、トータルコストの削減にとり組みました結果、営業利益は55億92百万円(前年同期は39億74百万円の営業損失)、経常利益は42億84百万円(同52億84百万円の経常損失)、四半期純利益は38億25百万円(同72億54百万円の四半期純損失)となりました。

事業の種類別セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

機械工具事業では、自動車や航空機・エネルギー関連向けの精密工具が堅調に推移したことにより、機械工具トータルの売上高は284億91百万円(前年同期比4.6%増)となり、営業利益は2億1百万円(前年同期は19億67百万円の営業損失)となりました。

部品事業では、自動車向けに加え、鉄道車両、建設機械などインフラストラクチャー向けの高機能ベアリングや油圧機器の需要が伸長し、部品トータルの売上高は606億62百万円(前年同期比37.1%増)となり、営業利益は44億91百万円(前年同期は17億60百万円の営業損失)となりました。

その他の事業につきましては、売上高は80億15百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益は8億62百万円(前年同期は2億83百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,758億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4百万円減少しました。主な増減は、受取手形及び売掛金が39億87百万円増加し、有形固定資産が37億74百万円、商品及び製品が6億69百万円減少しました。負債合計は、1,234億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億58百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金が80億91百万円増加し、借入金が107億1百万円減少しました。

純資産合計は523億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億54百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金が34億53百万円増加し、評価・換算差額等が6億92百万円減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は163億12百万円(前年同期は74億99百万円の使用)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益45億31百万円、減価償却費71億80百万円、仕入債務の増加83億70百万円などにより資金が増加し、売上債権の増加43億48百万円などにより資金が減少したことによるものであります。投資活動により使用した資金は48億16百万円

(前年同期比26億32百万円減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出であります。財務活動により使用した資金は110億26百万円(前年同期は247億46百万円の獲得)となりました。これは、主に借入金の純減額102億79百万円、配当金の支払額3億72百万円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は284億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き新興国がけん引役となり、穏やかな回復がすすむものと思われませんが、一方で、市場競争の激化による販売価格の低下や円高による輸出採算の悪化の影響が懸念されるなど、先行き予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループとしましては、長期的な成長が期待できる新興国、エネルギー・インフラストラクチャー分野など新しい市場の開拓にとり組むとともに、製造・販売・研究開発面を中心に抜本的な改善とコストダウンを推しすすめ、安定した収益体制を構築し、業績の向上に努めてまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

1. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

売上高及び売上原価の計上基準の変更

第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を適用しております。この変更による売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。なお、セグメント情報に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,543	28,373
受取手形及び売掛金	27,642	23,655
商品及び製品	11,380	12,050
仕掛品	8,339	6,460
原材料及び貯蔵品	4,614	5,119
その他	3,809	5,293
貸倒引当金	△143	△149
流動資産合計	84,187	80,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,768	31,211
機械装置及び運搬具(純額)	34,424	35,380
その他(純額)	13,103	14,480
有形固定資産合計	77,297	81,072
無形固定資産		
	322	391
投資その他の資産		
投資有価証券	10,236	10,285
その他	3,800	3,698
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	14,036	13,981
固定資産合計	91,656	95,445
資産合計	175,843	176,248
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,238	18,147
短期借入金	38,868	43,041
未払法人税等	426	153
その他	13,262	8,159
流動負債合計	78,796	69,501
固定負債		
社債	8,700	14,570
長期借入金	23,165	29,694
退職給付引当金	6,792	6,339
役員退職慰労引当金	13	14
負ののれん	81	84
その他	5,913	6,516
固定負債合計	44,666	57,219
負債合計	123,462	126,720

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,560	11,561
利益剰余金	28,420	24,967
自己株式	△181	△176
株主資本合計	55,874	52,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,332	2,377
為替換算調整勘定	△8,256	△7,609
評価・換算差額等合計	△5,924	△5,232
少数株主持分	2,431	2,332
純資産合計	52,381	49,527
負債純資産合計	175,843	176,248

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	78,576	97,170
売上原価	67,948	76,637
売上総利益	10,627	20,532
販売費及び一般管理費	14,602	14,940
営業利益又は営業損失(△)	△3,974	5,592
営業外収益		
受取利息	73	50
受取配当金	143	114
負ののれん償却額	17	18
持分法による投資利益	52	7
その他	394	310
営業外収益合計	680	501
営業外費用		
支払利息	1,067	1,058
その他	923	751
営業外費用合計	1,990	1,809
経常利益又は経常損失(△)	△5,284	4,284
特別利益		
固定資産売却益	4	23
投資有価証券売却益	—	384
貸倒引当金戻入額	56	3
ゴルフ会員権売却益	6	—
特別利益合計	67	410
特別損失		
固定資産売却損	1	3
固定資産除却損	75	71
投資有価証券評価損	—	89
特別退職金	300	—
ゴルフ会員権売却損	1	—
特別損失合計	378	163
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,595	4,531
法人税、住民税及び事業税	167	611
過年度法人税等	—	74
法人税等調整額	1,577	△75
法人税等合計	1,745	610
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△86	95
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,254	3,825

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	23,153	35,657
売上原価	20,567	27,700
売上総利益	2,585	7,957
販売費及び一般管理費	4,770	5,429
営業利益又は営業損失(△)	△2,184	2,528
営業外収益		
受取利息	19	20
受取配当金	103	85
負ののれん償却額	6	6
持分法による投資利益	13	3
その他	257	68
営業外収益合計	401	184
営業外費用		
支払利息	387	341
為替差損	—	156
その他	188	207
営業外費用合計	575	704
経常利益又は経常損失(△)	△2,359	2,008
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	—	384
投資有価証券評価損戻入益	27	—
貸倒引当金戻入額	46	7
ゴルフ会員権売却益	6	—
特別利益合計	81	396
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	17	37
投資有価証券評価損	—	80
特別退職金	14	—
ゴルフ会員権売却損	0	—
特別損失合計	33	119
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,312	2,285
法人税、住民税及び事業税	7	228
過年度法人税等	—	74
法人税等還付税額	—	17
法人税等調整額	187	△67
法人税等合計	194	251
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13	28
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,494	2,005

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△5,595	4,531
減価償却費	6,985	7,180
負ののれん償却額	△17	△18
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△80	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△869	473
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16	△0
受取利息及び受取配当金	△216	△165
支払利息	1,067	1,058
持分法による投資損益 (△は益)	△52	△7
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△19
有形固定資産除却損	75	71
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△384
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	89
売上債権の増減額 (△は増加)	18,326	△4,348
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,131	△1,182
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,926	8,370
その他	△5,335	1,134
小計	△6,527	16,776
利息及び配当金の受取額	236	206
利息の支払額	△1,058	△1,045
法人税等の支払額	△1,177	△422
法人税等の還付額	1,026	797
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,499	16,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,278	△5,285
有形固定資産の売却による収入	813	120
投資有価証券の取得による支出	△24	△93
投資有価証券の売却による収入	—	422
貸付けによる支出	△27	△14
貸付金の回収による収入	39	26
その他	30	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,448	△4,816

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,155	△4,884
長期借入れによる収入	18,895	4,821
長期借入金の返済による支出	△8,739	△10,216
社債の発行による収入	7,250	200
社債の償還による支出	—	△30
セール・アンド・リースバック取引による収入	5,476	—
リース債務の返済による支出	△251	△516
配当金の支払額	△1,989	△372
少数株主への配当金の支払額	△51	△22
その他	2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,746	△11,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	△409	△300
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,388	168
現金及び現金同等物の期首残高	12,833	28,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,222	28,431

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)

	機械工具事業 (百万円)	部品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	27,230	44,243	7,102	78,576	—	78,576
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	441	190	4,272	4,904	(4,904)	—
計	27,671	44,434	11,374	83,480	(4,904)	78,576
営業損失(△)	△1,967	△1,760	△283	△4,012	37	△3,974

当第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)

	機械工具事業 (百万円)	部品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	28,491	60,662	8,015	97,170	—	97,170
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	964	1,016	4,856	6,837	(6,837)	—
計	29,455	61,679	12,872	104,007	(6,837)	97,170
営業利益	201	4,491	862	5,555	36	5,592

(注) 1. 事業区分は、経営管理上採用している区分及び販売市場の類似性を考慮して決定いたしました。

2. 事業区分の主要な製品

- (1) 機械工具事業…工具、工作機械、ロボット
- (2) 部品事業………ベアリング、油圧機器
- (3) その他の事業…特殊鋼、運送、情報処理関連

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	59,806	8,686	3,131	6,952	78,576	—	78,576
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,210	248	140	683	10,282	(10,282)	—
計	69,016	8,934	3,271	7,635	88,859	(10,282)	78,576
営業利益又は営業損失(△)	△4,874	△273	△70	260	△4,958	983	△3,974

当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	72,514	10,512	3,993	10,150	97,170	—	97,170
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13,521	192	226	455	14,396	(14,396)	—
計	86,036	10,704	4,219	10,606	111,566	(14,396)	97,170
営業利益	4,034	532	249	882	5,698	(106)	5,592

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 米 州…米国、カナダ、ブラジル
 (2) 欧 州…ドイツ、チェコ
 (3) アジア…シンガポール、タイ、オーストラリア、中国

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高 (百万円)	9,331	3,381	14,802	27,515
II 連結売上高 (百万円)				78,576
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	11.9	4.3	18.8	35.0

当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高 (百万円)	11,394	4,206	21,835	37,436
II 連結売上高 (百万円)				97,170
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	11.7	4.3	22.5	38.5

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 米 州…米国、カナダ、ブラジル
 (2) 欧 州…ドイツ、イギリス、フランス
 (3) アジア…中国、台湾、韓国、シンガポール、タイ、オーストラリア
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。